

社会福祉協議会会費納入のお願い

〜とともに支えあう福祉の地域づくり〜

社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり」を目指して福祉事業を推進しています。

社協の地域福祉活動の運営費は、今回お願いする社協会費に加え、皆さまからの寄附金や町補助金、赤い羽根共同募金の配分金により支えられています。毎年ご協力いただ

いております社協会費は、住民相互の福祉の向上のために、皆さまのご理解のもとに社協の会員として1戸あたり5000円の会費の納入をお願い

いするものです。

会費につきましては、地区社協、いきいきサロン、ボランティア育成事業、歳末助け合い支援金、老人福祉、障がい児・者福祉、児童・青少年福祉、母子・父子福祉、福祉育成援助活動などの運営費として使用させていただいて

ます。本年度も地域福祉活動を推進してまいりたいと思っておりますので、社協会費へのご協力・ご支援をどうぞよろしく願

老人クラブ連合会ウォーキング大会開催

老人クラブ連合会のウォーキング大会が町総合グラウンドからサイクリングロードを経由し、百太郎公園までの約3.4キロのコースで開催されました。当日は春の穏やかな天候のもと63名の老人クラブ会員が



参加して歩きながら交流を深められました。また、訪問看護ステーションなないろの看護師が救護のため同行し、公園に到着後は、訪問看護等についての講話も行われました。



「赤十字運動」にご協力ください

日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、皆さまに赤十字会員への加入をお願いし、年額500円以上の会費のご協力とともに、赤十字の人的活動へのご理解を求める運動を展開しております。

納入いただきました会費は、日本赤十字社熊本県支部に納付し、次のような赤十字活動に役立てられます。



- 災害救護活動 …… 国内災害現場での医療救護や救援物資の配布等 (令和6年1月能登半島地震では、被災地で医療救護や救援物資の配布、こころのケア活動を行う。また、義援金の受付など様々な面から被災者を支援。)
- 国際活動 …… 海外の紛争や自然災害による被災者に対し、全世界の赤十字社が協力して支援
- 赤十字講習会 …… 心肺蘇生やAEDの操作方法などの講習等
- 赤十字ボランティア …… 県内で約16,000人のボランティアが災害に備えた訓練や地域の要望に応じた活動を行う
- 青少年赤十字 (JRC) …… 将来を担う青少年が、赤十字精神を基に自らを育むことを目指して活動



次の方々から社会福祉のためにとご寄附をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。(敬称略・受付順)

- 上村 健 一(故 早苗) 多3区の2
  - 赤池 一 能(故 詔子) 多2区の1
  - 西 孝一郎(故 ミドリ) 黒1区
  - 東 ひろ子(故 史朗) 久3区
  - 久保田 エイ (故 伸夫) 多8区の2
  - 小野寺 キク子(故 椎葉キミ子) 多1区の2
  - 黒木 邦 久(故 ツル子) 久12区
  - 小田 とみ子(故 辰幸) 多10区の2
  - 松田 ムツメ(故 正則) 多10区の1
  - 土屋 千代子(故 不二男) 多9区の1
  - 松崎 啓 一(故 鈴子) 黒5区
- ※令和5年度町民の皆さまより127件・合計金額2百80万1千90円のご寄附をいただきました。本当にありがとうございます。いただきましたが、ご寄附は社協が実施する地域福祉事業とボランティアセンター事業の財源として大切にに使わせていただきました。